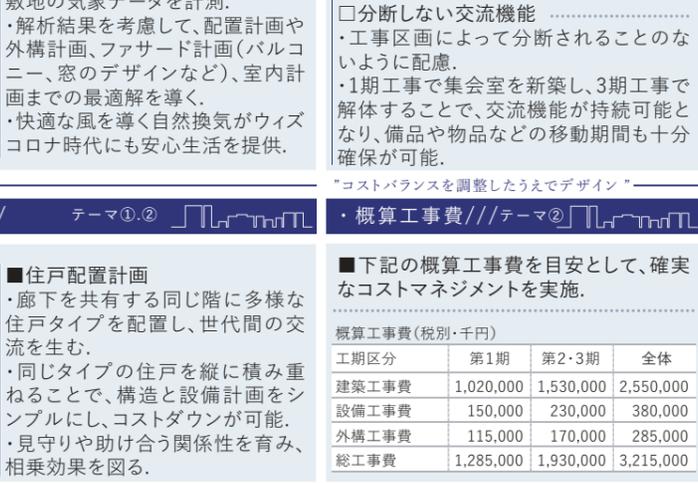
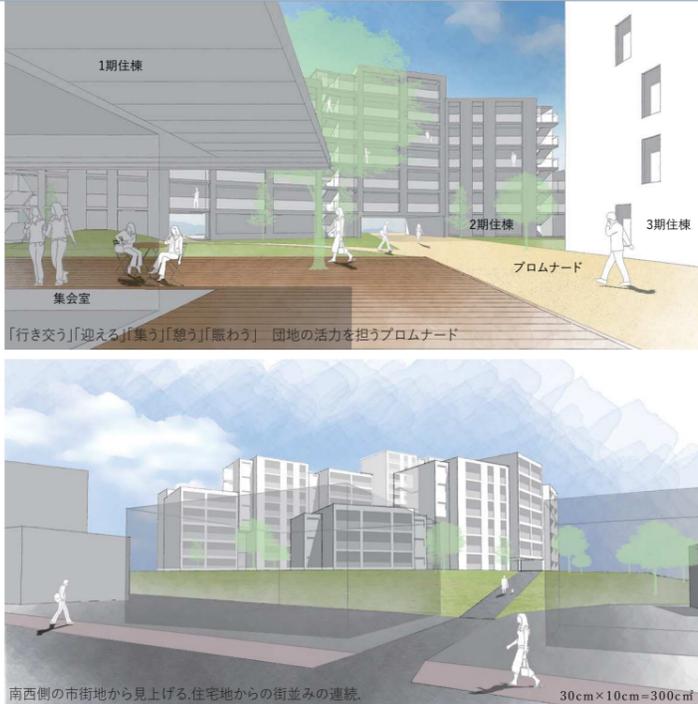


様式11 評価テーマに対する提案

「(テーマ1) 持続可能な団地コミュニティの形成」, 「(テーマ2) 実現性の高いコストの削減策」及び「(テーマ3) 地域のまちなみに調和した景観形成」についての提案



「コスト削減と快適な風景創出を両立した知恵と技術」

・貴重な予算を最大限に活かす /// テーマ②

弊社設計事例.1 弊社設計事例.2 弊社設計事例.3

公共の集合住宅をはじめとして様々なプロジェクトを実現してきた中で、豊富な経験と実績を活かしたコスト削減に取り組みます。

■ポイド重視の設計

・オブジェクト(建物などコストの直結する部分)はシンプルに、ローコストに作る一方で、ポイド(オブジェクトの間のコストのかからない外構部分)は豊かなコミュニティの場として設計。

■その他のメリット

・魅力的で豊かなコミュニティの場の実現とローコストの両立(テーマ①、②)

■参照:【弊社設計事例.1】【弊社設計事例.2】【弊社設計事例.3】

■構造方式の最適化

・中低層棟をRC壁式、高層棟をRCラーメン構造とし、建物規模に適した合理的な構造形式を採用。

・RC壁式構造により、コンクリート量、鉄筋量の削減だけでなく、建物軽量化による基礎形式の合理化。

・床仕上げをRCスラブへ直貼りとするなど、内装工事を簡素化し、さらに室内天井高を維持しながら、階高を縮小する事で、建物軽量化、コスト合理化を実施。

■その他のメリット

・必要なもののみで構成された美しい建物の形。

■参照:【弊社設計事例.1】

■下記工法の採用を積極的に検討

・低層棟における基礎型枠レス工法、ハーフPC工法によるスラブ型枠及び支保工の軽減と工期短縮、ポイドスラブ工法など。

■プラン、デザインの合理化

・集約型の高層棟と接地性の高い中低層棟をバランスよく組み合わせることで、コミュニティや景観を重視する設計思想とコストのバランスを確保。

・分棟に見せつつも、標準的な片廊下プランとすることで、少ない共用部(廊下、階段、EV)で、すべての住戸のバリアフリーを実現。

・住戸内のプランは、廊下を介して部屋同士をつなぐことなく、家族が集うDK、LDKに直接個室が面する事で、室内間仕切り壁を最小限とすることが可能。

■その他のメリット

・テーマ③周辺環境との調和とテーマ②の両立

・シンプルで使いやすい動線

・建具を開けば大きなワンルーム(明るく風通しの良い住まい)。

・建具の開閉によって、多様な住まい方が実現可能。

・福祉サービスのアプローチにも有効なプラン。

■参照:【弊社設計事例.1】

北側廊下

3DK

2DK

階段

2LDK

2DK

南側バルコニー

片廊下

浴室WC

個室

DK

個室

標準間取例

▲各住戸をつなぐ標準的な片廊下

▲最小限の間仕切り壁の室内

(注) 用紙は、日本工業規格A列3とする。